Lacquering

関野晃平 (1943-2014) SEKINO Kohei

工 小柳種凰 (1944-) KOYANAGI Tanekuni

#### Metal working

大須賀喬 (1901-1987) OSUGA Takashi

井尾敏雄 (1908-1994) IO Toshio

大須賀選 (1931-) OSUGA Sen

井尾建二 (1945-) IO Kenji

#### **Dyeing and Weaveing**

柳 悦孝(1911-2003)YANAGI Yoshitaka

大澤美樹子(1946-)OSAWA Mikiko

受け継がれる



MUSEUM COLLECTION III

PASSING DOWN AND RENEWING

2019.12.7 = 2020.4.12 目

会場 | 世田谷美術館 2階展示室

開館時間 | 10:00-18:00(入場は17:30まで)

休館日|毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館)、 年末年始12月29日(日)~1月3日(金)※1月13日(月・祝)は開館、翌1月14日(火)は休館。

介助者(当該障害者1名につき1名)は無料 \*小・中学生は土、日、祝・休日は無料

コーナー展示 能面師 入江美法の世界 IRIE Biho — the Art of Noh-masks

世田谷美術館 SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 TEL.03-3415-6011(代表) https://www.setagayaartmuseum.or.jp/ 展覧会のご案内 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

山田 貢(1912-2002)YAMADA Mitsugi 志村ふくみ (1924-) SHIMURA Fukumi 柚木沙弥郎(1922-)YUNOKI Samiro 寺村祐子(1937-)TERAMURA Yuko 出口普子(1939-) DEGUCHI Hiroko 大槻圭子(1943-)OTSUKI Keiko 山縣百合子(1944-2009)YAMAGATA Yuriko THE TECHNIQUES AND SPIRIT OF THE CRAFT 2月24日(月・振替休日)は開館、翌2月25日(火)は休館。 観覧料 | 一般200(160)円、大高生150(120)円、65歳以上/中小生100(80)円 \*()内は20名以上の団体料金 \*障害者の方は100(80)円、ただし、小・中・高・大学生の障害者は無料。 \*同時開催の企画展チケットで本展をご覧いただけます。 左 小栁種園《蒔絵平瀬桜木図箱》 2006年 右 柚木沙弥郎 《格子》 2009年 写真摄影:上野則宏

ミュージアム コレクションπ

# 受け継がれる工芸の技と心

## そして現代へ

長い年月を重ねて、人々の暮らしのなかで作られて きた工芸作品には、多くの先人たちの美意識や知恵 と工夫が蓄積されています。

本展では、こうした先人たちの心や技を受け継ぎ ながら、現代の生活や美意識に呼応した新たな作品 づくりに取り組む作家たちの作品を、当館の収蔵品を 中心に、ご紹介します。

世田谷ゆかりの染色作家・山田貢は、江戸時代の 《白麻地風景模様茶屋染帷子》(東京国立博物館 所蔵)の復原に携わり、その経験が自身の制作にも 活かされ、糸目友禅で重要無形文化財保持者に 認定されました。

漆芸作家の小栁種凰は、国宝の中尊寺金色堂 復元修理に参加し平安時代の漆工芸に直に触れた 経験が、現在の制作の基盤になっています。

大須賀喬と大須賀選、そして井尾敏雄と井尾建二は いずれも親子で金工に携わり、伝統を踏まえた技術で作品制作に 取り組んできました。

染織作家の志村ふくみは、柳宗悦 (1889-1961) らが提唱した民藝 運動に関わり、木工芸の重要無形文化財保持者に認定された黒田辰秋 (1904-1982) から工芸の根本姿勢を学び、草木染の紬織で重要無形 文化財保持者に認定されました。染織を通じて自然との共生をテーマ に執筆活動や後進への育成にも尽力し、2015年には、文化勲章を受章 しました。

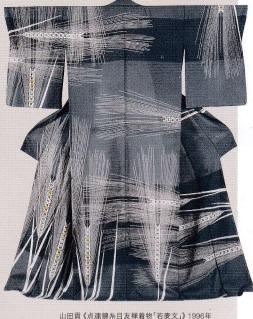
関野晃平も黒田辰秋を通じて漆芸の道に入った作家で、日本鮑を 用いた螺鈿や変わり塗の一種の白沃地の作品を制作しました。

民藝運動に関わり、型絵染の重要無形文化財保持者の芹沢銈介(1895-1984)を師として染色の道に入った柚木沙弥郎は、「民藝」という枠組みを 越えて、より根源的で自由な創作活動へと向かい、97歳を超える今も 意欲的な作品制作に取り組んでいます。柚木は柳宗悦の甥で染織作家の 柳悦孝と共に、女子美術大学で長年多くの後進を指導し、その自由な 精神は、寺村祐子、出口普子、大槻圭子、山縣百合子、大澤美樹子といった 染織作家たちにも引き継がれています。

本展では、こうした先人たちが長い年月をかけて築いた蓄積を継承しな がら、現代へと展開している作家たちの作品をご観覧いただければ幸いです。



志村ふくみ《阿礼》2016年



写真撮影:全て上野則宏



関野晃平《梻拭漆大手箱》1990年



井尾建二《銀製花蝶透彫文手付長盤》1987年



柚木沙弥郎《びっくりマーク》2011年

### 関連企画

講演会 1 日時:2020年2月9日(日)

「金工の伝統技法とその魅力」

講師: 井尾建二

金工作家,日本工芸会正会員(金工部元会長)、 武蔵野美術大学元講師、

青山彫金金エスクール主宰

講演会 2 日時:2020年4月5日(日)

「工芸作家の制作姿勢と表現」 講師: 外舘和子

多摩美術大学教授、工芸評論家、工芸史家

いずれも14:00~15:30 (開場13:30)

会場: 当館講堂 定員:先着140名 入場無料

※手話通訳付

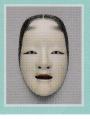
※当日12:00よりエントランス ホールにて整理券を配布

#### コーナー展示

### 能面師 入江美法の世界

世田谷ゆかりの彫刻家で能面師として知ら れる入江美法(1896-1975)の能面や彫刻及び 能に因んだゆかりの作品を紹介します。

入江美法 《小面》 制昨年不詳



#### 同時開催企画展

- 奈良原一高のスペイン ――約束の旅 2019年11月23日(土·祝)-2020年1月26日(日)
- 村井正誠 あそびのアトリエ 2020年2月8日(土)-4月5日(日)

#### 交通案内

- 東急田園都市線「用賀」駅下車、北口から徒歩17分、 もしくは美術館行バス〇「美術館」下車徒歩3分
- 小田急線「成城学園前」駅下車、南口から 渋谷駅行バス®「砧町」下車徒歩10分
- 小田急線「千歳船橋」駅から 田園調布駅行バス⑥「美術館入口」下車徒歩5分
- 来館者専用駐車場(60台、無料):東名高速道路高架下、 厚木方面側道400m先。美術館まで徒歩5分。

# 成城学園前 NHK放送技術 研究所 ■ 世田谷 清掃工場 世田谷美術館 (有料) 砂心 美術館来館者専用 駐車場(無料)

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 TEL.03-3415-6011(代表) https://www.setagayaartmuseum.or.jp/